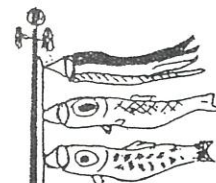


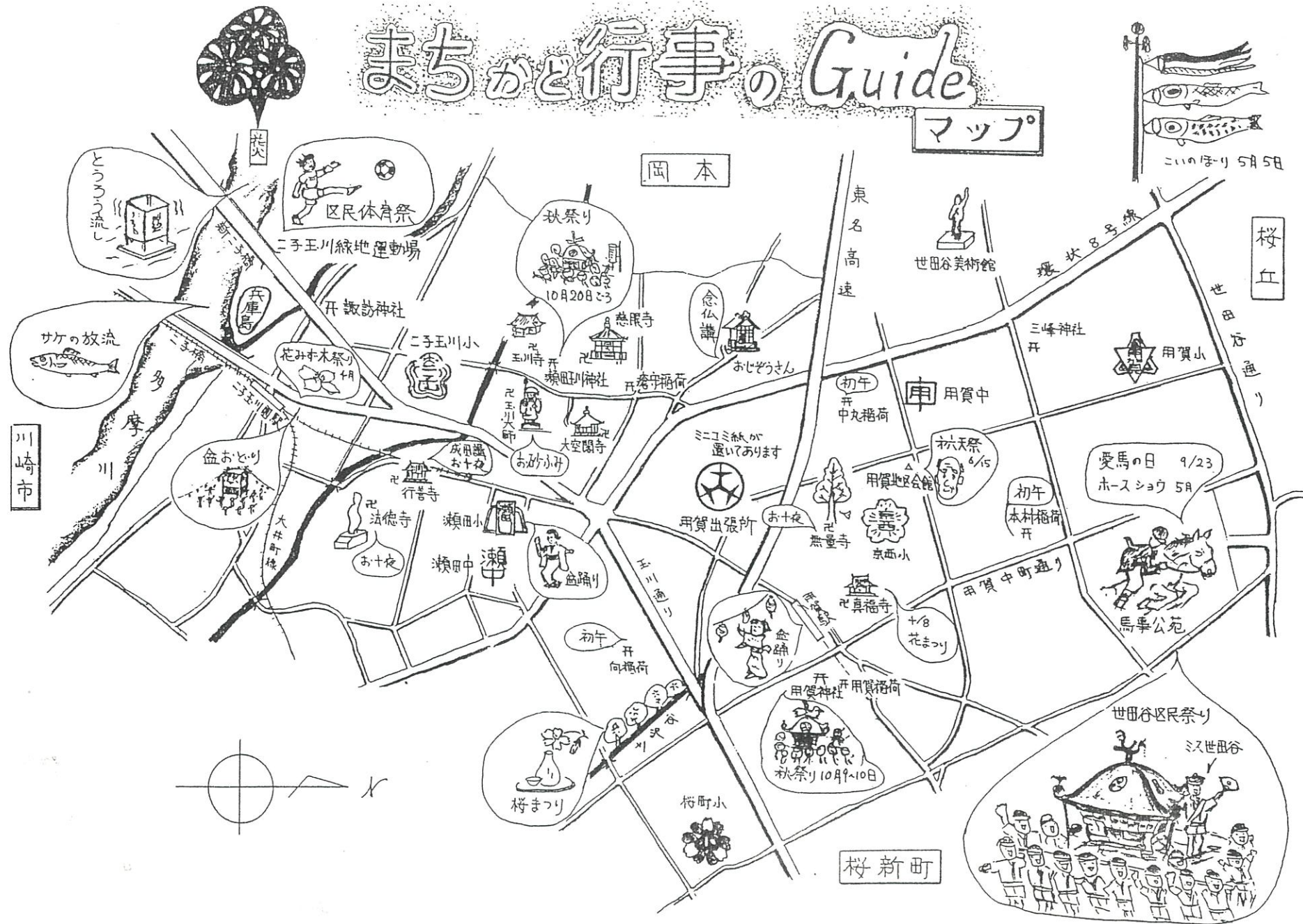


特 集 号

マツブ。



ニいのほーり 5月 5日



ごあいさつ

編集委員長 鈴木 武一

ミニコミ紙 ひろば ……この事始めて10年 ……途なき道を辿りつ、
熱意クルールの積み重ねで、続けて参りました。

誤字はなからか入丈夫か

そつも読むけど此の文は

こつ読ませるのが良いのでは

評判片手にじつと見て

読む身になって直しなさい

ハイ OK と訂正し

イラスト マツプで幅もたせ

毎号不安や心配で

どうかどうか固まってる

読後評判聞くまでは

幾日下っても曇り空

心はまるで晴れません

そんな気持の往來を

ソワソワ気分で越しました

万号でひとくざり

サア これからも尚本番

読む人みんなに、待たれて読まれる ひろば を目指して

まだ続けます これからも……。



用賀出張所長 後藤 光晴

ひろば 特集号の発刊を迎えられ 心からお祝い申し上げます。

地域のミニコミ紙として、多くの方々から親しまれて参りましたの

も、ひとえに皆様のご支援と、編集委員の方々の、努力のたまひとの

と、深く感謝申し上げます。

地域での行事、出来事、身近にあつて意外と知られていない郷土

紹介等、幅広く紹介しております。

この ひろば が、用賀出張所管内のまちづくりの

核の一つとなることを期待申し上げます今後益々の発展

を心からご祈念申し上げます。

平成三年度より、新地域行政制度が発足し、所在

地が分かりやすいように、玉川第五出張所から、用賀出張所と冠名

が変更されました。そして、「もっと身近に」「もっと便利に」と、

新たな行政サービスや、まちづくりに努めております。



編集委員からひとこと

飯三 恭次

身近な生活圏も、横に広げて行く国際社会。昨日の話しも、少し遡るとわが町の歴史。この様な視点を大切にして、ひろばがこれからも皆様の普段着で語り合える場になる事を願っております。ご関心のある方は、是非お仲間入り下さい。

池田 良夫

二十一世紀は地方の時代といわれます。都市集中の時代から、身近な街づくりが始まっています。わがひろばも、手近な街のコミュニケーションから始めてみました。豊かで住みよい社会、住民の心がリッチになる街に小さな石を投げました。水面に波紋が大きく広がって行く事を願っています。これからも街のニュースを拾ってまいります。

大坪智恵子

私は、創刊号から、主に瀬田地域の事柄を取材してきました。初めは皆さんから原稿を頂くのに、「ミニコミ紙」の説明からいたしましたが、近頃は、次のテーマのご意見や、ご注文があるようになりました。これからも、地域の「ミニコミ」紙としての企画を大切にしたいらば、お手伝いをしてまいりたいと思っております。

折原 淳子

3号から、筆耕としてお手伝いさせて頂いておりますが、いつも感じ入っている事が一つ。それは、編集会議がまるでわがまちの歴史研究会かと錯覚してしまう位内容豊かなのです。そこから生まれて来る記事を活かす紙面作りに、微力をつくしてまいりたいと思っております。

鈴木 堅之

創刊から暫らくの間、この地域の各種案内マップを担当して来ました。原稿作成に当たっては、正確を期す為、書類を調べたり、実際に自転車で区域内を廻ったりしましたが、おかげさまで、地理には明るくなり、又、思いもかけない発見をしたりして喜んでくれています。大変勉強になりました。

高橋 澄子

編集スタッフの一員として参加させて頂き、今日まで沢山のひとと出会い、貴重なお話をたくさん伺い、私自身、とても勉強になりました。これからも楽しんで活動できるように、ひろばになれたいと思っております。

堀三 文雄

八人家の、それぞれ個性豊かなスタッフに支えられ、送り出されてきたミニコミ紙、ひろば。これから、地域の人々から、ほんでいてよかったと言えるまちのために、話題を定めた文を掘り起して行くことでしょう。



創刊号

30周年

源田小学校

源田小学校

2号



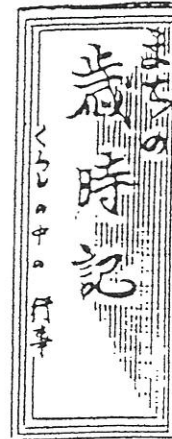
3号



4号



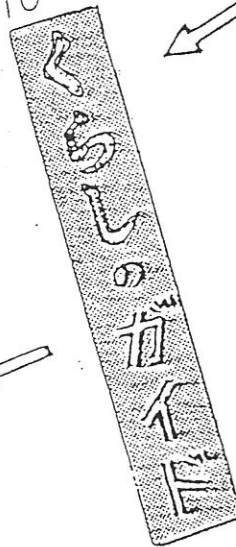
9号



5号



10号



8号



7号



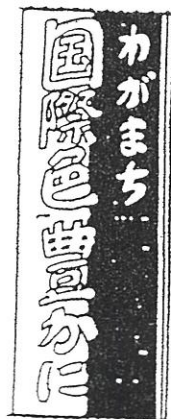
6号



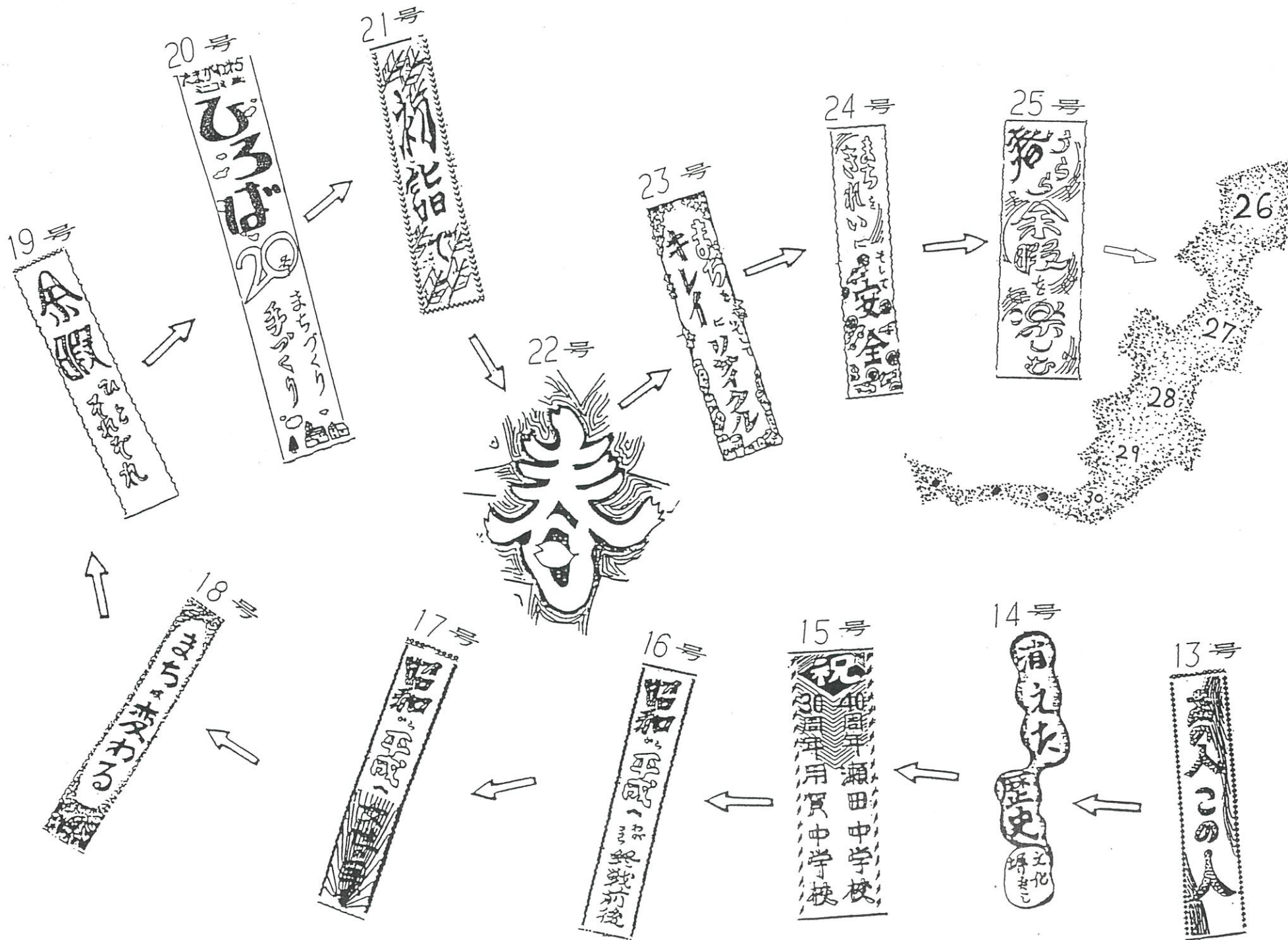
12号



11号



スタートは
昭和58年10月1日
のことでした



号	発行日	メインテーマ	郷土紹介	地域マップ	ひとふし 世を断る 七五調
25	昭和58年10月1日	瀬田小学校 30周年のめぐり	用賀	町会案内	ひとふし 世を断る 七五調
24	昭和59年3月20日	ニッ子玉川 昔 今 これから	瀬田	花とみどり	ニッ子玉川 歌はしゃべるヨ...
23	昭和59年9月1日	特集 防災	玉川	地震たずあなほどこへ行く 絵のドさげ	
22	昭和60年3月1日	特集 子ども	玉川台	よく学び よく遊べ	I・Y・Yと30年
21	昭和60年7月1日	用賀 昔 今 これから	上用賀	みどりと親しむ	あの頃 その頃 今の頃
20	昭和60年12月1日	まちの文化を辿る	文化マップ	文化マップ	文化ドンドコ ローカル版
19	昭和61年3月10日	あの道 この道	大山道	むかしの道	アノみち この坂
18	昭和61年7月20日	瀬田 むかし 今 そして	次太夫堀	水と川と散歩道	古くて アタニシイ 瀬田
17	昭和62年12月20日	まちの歳時記		まちかど行事の Guideマップ	近ごろ 此処いら 頃ごよみ
16	昭和63年1月20日	くらしのガイド		ちよっと あしをのぼしてみませんか	ひろは ア・ラ・カル・ト
15	昭和63年7月20日	わがまち 国際色豊かに	幕末の豪商 鈴木六之助	国際化時代	ハイカラ講談 ひとくさり
14	昭和63年11月20日	スポーツ 健康してまうか	馬事公苑	スポーツ施設	スポーツ健康 あぼだら経
13	昭和63年12月20日	あの人 この人	無量寺と 吟碩和尚さん	人がつくる 人が支えるまち	人影ソング
12	昭和64年1月20日	消えた歴史		ふる里の足あと 伝えよう歴史	地蔵尊 由縁がし
11	昭和64年3月20日	祝 40周年瀬田中学校 30周年用賀中学校	都立桜町高校	幼 小 中 高校マップ	新制教育 アノ頃 このころ
10	昭和64年7月20日	昭和から平成へ わがまち終戦前後	陸軍 衛生材料本廠	アレッ!? こんな処に...	あの頃 その頃 今の頃 戦中編
9	昭和64年11月20日	昭和から平成へ 女性の目から	砦多ミリパーク	昭和から平成へ キーワード	あの頃 その頃 今の頃 戦後編
8	昭和65年1月20日	まちは変わる	玉川村の頃	再開発 あちこち	行く手 あらまし 行進曲
7	昭和65年3月20日	余暇 ひとそれぞれ	幕末の日本画家 菊池容奇	心も身も リフレッシュ	余暇 よか 談義
6	昭和65年7月20日	まちづくり 20号 手づくり		町会案内	ひろは 20は... 投げ節 小唄
5	昭和65年12月20日	初詣で	慈眼寺	初詣で	新春よろず目だより 初詣 ヨサレがし
4	昭和66年3月20日	春	真福寺と 花まつり	春 陽炎ゆらゆら 外へ出よう!	陽炎 かげろう ものかたり
3	昭和66年7月20日	まちをキレイに そしてリサイクル	私たちの町の 新地整理事業		あの頃 この頃 なつ景色
2	昭和66年12月20日	まちをキレイに そして 安全	用賀の 東條首相邸		其処 此処 みんな キレイ節
1	昭和67年3月20日	春うらら 余暇を満しむ	行善寺八景		春はウラウラ のんき節